

りに一日動きます。でも、今日のお弁当パックの片付けはやるべきメモには書き込まれたものではありません。私の生活上での拘りでしょうかねえ。そこまでやる必要はない、どうせ結局ゴミは一緒くたくなって燃やされるんだよ。その通りだろうとも思う。だから、そんなにゴミ分別に拘る必要はないのかもしれない。それにしても、私たちは日々の生活を営む上で、何と多くのゴミ！？を吐き出していることだろうか！？

私たちは今、この時代に生きています。様々に私たちが果たすべき課題が提示されています。私の細やかな！？ゴミ処理の拘りも、持続可能な世界をという世界的な目標の一環でとりくんでいるはずなだけけど、どうやら 私の拘りに沈下しているようでもある。庶民の一人の私の拘り、それでも良いんじゃない。人類の歴史創造って、意外に、結構そんな私たちの日々の生活行動、拘りが与しているのかも！？

■■■ 第1例会レポート ■■■

クラブの地域奉仕事業を考える例会を、2023年新たに発足した南山ハーベストクラブの荒川文門さんをゲスト卓話者としてお迎えし、お話を伺いました。はじめにクラブの歴史と経緯が語られ、改めて名古屋 YMCA の会員活動の神髄を実践・継続されているクラブ活動であると確信し、心から感激いたしました。

南山ファミリー YMCA と名付けられた名古屋 YMCA の南山ランチは、その名のおり、ファミリー・地域に根付いた活動を展開するため、南山幼稚園に併設して開設されました。南山 YMCA の地域奉仕事業を支援するためにチャーターされたのが名古屋南山ワイズメンズクラブです。明確なミッションのもとに設立された南山ワイズメンズクラブの活動は、まさに YMCA のパートナークラブとして、YMCA の様々な地域奉仕プログラムに積極的にかかわる中で、YMCA スタッフやユースリーダー、幼稚園児や保護者、近隣施設などとの交流を通じ、信頼関係が構築されていくものなのですね。

時代の変遷とともに南山 YMCA の活動も変容していく中で、南山ワイズメンズクラブの YMCA サービスと地域奉仕事業は続けられ、現在の「南山農場」の活動に至るのですが、クラブメンバーの減少や高齢化に伴い、ワイズとして

の責任が果たせないとの理由で南山ワイズメンズクラブは2023年にその幕を閉じました。しかし、南山農場を通じての YMCA と地域への奉仕は継続される形で「南山ハーベストクラブ」が誕生しました。

なぜ続けられるのか？ そこには夢が有るからです。名古屋 YMCA は南山幼稚園の他にかみさわ・こひつじ・かりやの3つの保育園、つるさとの放課後デーサービス、日本語学院と事業が展開・成長しています。卒園後の子どものプログラムは YMCA プログラムでつなげる事が出来ていますが、卒園後の保護者に対してはプログラムが無いためにつながりがたたれてしまう。その現状を打破する一環として、ハーベストクラブの活動で家族を YMCA に引き留める。その交流を通じて、やがては大人の YMCA 活動につなげていければ・・・と夢を持ち、まずはハーベストクラブサポート会員制度を立ち上げられています。

やがては名古屋 YMCA 会員増強にもつながる。もしかして復活南山ワイズメンズクラブもできるかもしれない・・・！

こんな活動をされているハーベストクラブを名古屋ワイズメンズクラブメンバーが支援しない理由どこにもありません、と思いませんか？ (川本龍資)

クローズワークキャンプ参加レポート

9月30日(土)から10月1日(日)に日和田高原キャンプ場でクローズワークキャンプがYMCAのプログラムとして実施されましたので そのお手伝いに行ってきました。ボランティアリーダー約20名にグランパスクラブを中心とするワイズメン、YMCAOB・OGにスタッフで総勢約40名の参加です。



1日目は好天のもと昼過ぎに集合してワーク開始です。夏の間良く使ったキャンプ場の掃除や整備、そして長く厳しい冬を無事に超えるように備えをします。私はテント点検・清掃班に入って作業をし

ました。夕食はグランパスの坂口料理長の指示のもと渾身のおおご馳走です。鳥や魚の丸焼き、焼肉、、、みんな大満足です。



本当はこの後地域で以前行われていた「火祭り」をするはずでしたが 雨が降り出して来てしまい中止になってしまいました。代わりに歌とゲームの集いです。いやーしかし今年のリーダー達は元気が良い！ 全リー研に行ったリーダー達が歌の良さに目覚めたそうで ギターに合わせてキャンプソング大合唱、ゲームで大はしゃぎでした。

翌日は残った様々な作業と掃除と戸締りをしっかりしてリーダー達を車に分乗させて帰りました。リーダー達とふれ合い仲良くなれる大変良い機会を与えられました。

(渡辺真悟)

第 2 例会レポート

と き：2023年10月16日(月) 19:02～20:30
と ころ：Zoomリモート

1. 2023-2024 上半期例会プログラム

| 月日 | 曜日 | 会場 | プログラム |
|----|------|------------|-----------------------|
| 11 | 14 火 | YMCA | ①Yサユース事業について YMCAとの交流 |
| | 20 月 | Zoom | ②役員会 |
| 12 | 9 土 | 名古屋ガーデンパレス | ①クリスマス例会 |
| | 18 月 | ZOOM | ②役員会 |

(1) 11月第一例会 11/14

Yサ・ユース事業：日韓ユースセミナー報告会(参加ユース出席) 担当：加藤、深谷、中村、中井、

(2) 12月第一例会 12/9(土) クリスマス例会 於) ホテル名古屋ガーデンパレス 17:30～

- ・例会卓話講師、例会ゲスト、YMCA イベントに参加された方々に声掛けし、大勢のゲストと共にクリスマスをお祝いする。
- ・クリスマス礼拝とクリスマス祝会の2部構成とし、アトラクションは名古屋YMCA キャンプソングバンドを予定
- ・担当：西村、川本、平野、谷川

(3) 1月以降例会プログラム

- ① 3月第一例会：京都グローバルクラブとの交流会、会場はラ・スースを候補とする。
 - ② 卓話候補者：深谷ワイスより、陸上長距離日本代表アスリート(5000m)の紹介有り。
- いのちの電話関連の卓話を希望する意見があった。

2.CS 事業について

- (1) ミカン狩り招待について :3か所の児童養護施設(天使園、南山寮、中央有鄰学院)の子ども達を招待する。(担当：谷川)日程候補 :2024年1月13日(土)か27日(土)
- (2) 愛実の会クリスマス会(コロナの制限有) 12/16日(土) クリスマスコンサート(30分)とケー

キ(3個)をプレゼントする。

施設内入室人数が5～6名と限られる為、コンサート演者+αで行う。

(3) 南山ハーベスト支援 :10/8(日)収穫祭 6名参加。

現時点で戸田、加藤、川本、塩田、西村、渡辺(6名)がサポート会員。継続募集中(3,000円/年)都築ワイス迄。

3. 次年度会長について

2014-2015年度クラブ会長選出にあたり、本日の出席者全員一致で加藤明宏ワイスを推薦した。

加藤ワイスの快諾を得たため、11月第1例会にてクラブメンバーに諮り承認を得ることとする。

4.YMCA 関係

- (1) 10/15(日)街頭募金(参加者：相馬)
- (2) 10/29(日)南山バザー 参加者：加藤、戸田、都築、相馬、川本、谷川 駐車場：2台確保
- (3) 11/4(土)チャリラン 参加者：加藤、川本、戸田、相馬、谷川、中村、中井、都築、西村。さらに募集中。
- ・公園施設が工事中につき、ランナー誘導要員が多く必要。より多くの参加を。
- ・奉仕者は8時15分集合 今年度はみたらし団子の給食奉仕は実施しない。
- ・ラッフル券の協力依頼(1000円/人)が有り、一般会計予算には計上されていないため各自でご負担いただく事とし、次月例会にて協力を要請する。ラッフル券はチャリティーラン当日のラッフル抽選結果まで川本が保管する。

| ハッピーバースデー | | メネット |
|-----------|--------------|-------------|
| メン | 13日 都築 正和 くん | 3日 小尾 昌代 さん |
| | | 4日 長井 衣世 さん |

23 秋の根の上祭り参加記録

10月9日に根の上キャンプ場で秋の根の上祭りが開催されました。名古屋クラブからは加藤、川本、渡辺の3名が参加。1953年に開設された根の上キャンプ場は今年の夏には70年をむかえました。根の上まつりはコロナ禍のため3年間中止となりましたが 根の上を愛する会の山村さん(名古屋東海ワイス)が時々キャンプ場の整備に行き手入れをしてくれたお陰もあり 今年は春に続いて行うことが出来ました。参加者が15名といつもより少なく また小雨模様でしたので外での開催はあきらめてメインロッジの中で行いました。

グランパスクラブの坂口コースケ料理長や松原さん夫妻、

信田さん、それに常川しじみさん達が準備してくれた食事は坂口さんが釣ってきた魚や分厚～いステーキ!などなど今回もおおご馳走でした。



お腹が膨れた後は 川本さん達のギター伴奏でキャンプソング、しじみさんや加藤さんリードでのゲームなど 根の上キャンパー時代に戻って大いに盛り上がりました。

(渡辺真悟)

ブリテン委員よりお願い

各号に例会以外の活動報告を掲載しておりますが、全て当委員では把握できておりません。ワイスやYMCA 関係の行事に参加された方はその旨ブリテン委員にお知らせください。宜しくお願いします。



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

「先生、律法の中で、どの掟が最も重要でしょうか。」イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』(マタイによる福音書22章36～39節)

西村 清

ある決断によって、あるいは友人とのしがらみからワイズメンになった方もおられるかもしれない。しかしその後、ワイズメンになって、自分の人生においてそれなりの価値を見だし、人生を豊かにしていると考え、それ故にワイズにとどまっているというのがわれわれの現実です。

しかしその中で、重要なファクターとして「メンバーとの交わり」があげられる。「地下水的な交わり」と言えるかもしれない。私たちの交わりには「砂漠」タイプの交わりがあります。掘っても、掘っても水が出てこない、冷ややかな、潤いの無い交わり。これはもはやワイズメンにとどまることはできなくなる。あるいは、かといって「湿地帯」タイプの交わりはどうでしょうか。これは水が過剰になったタイプです。あまりに親しくなりすぎて、センチメンタリズムというか、始終ベタベタくっついている。持ちかけられた相談をいなしてはいけないという思いから、他家の台所をのぞいて廻るかのよう、「何か悩みはありませんか」と土足で他家に踏み込んでしまう。湿気の多い梅雨時には食物が腐るように、あまりに過剰な交わりは、適

当な距離を置きながらのワイズメンの交わりとは異質なものに变质してしまう。

こういったタイプに対して、「地下水」タイプの交わりはどうでしょうか。ワイズメンの交わりは地下水のタイプとして理解できます。水は地底のあらゆる部分に張り渡されていますが、湿地帯のようにのべつ幕なしに過剰に噴出するのではなく、必要な時に掘れば必ず出てくる。砂漠のように、掘っても、掘っても、水が出てこないのではない。「君子の交わりは淡きこと水のごとし」という言葉がありますが、ワイズの交わりは淡々としたものであっていいし、むしろそうあるべきで、長く続くものです。

ただ、この「地下水」的なあり方を考えると、仲間の問題のあり方に敏感でなければならないのです。これは決して、あの「他家の台所をのぞき廻る」たぐいのおせっかいではない。「いざ」という時には、その問題を素早く認識する敏感さです。仲間に「いざ」という時がきているのに「うっかり」していることはないでしょうか。訴えれば必ず受け止めてもらえるという善意です。

南山ハーベストクラブ収穫祭レポート

10月8日に南山ハーベストクラブの収穫祭が南山農園で開催されました。南山ハーベストクラブの由来や趣旨については10月の第1例会で荒川文門さんから詳しく伺うことができましたが、今日はその実践の一日です。名古屋クラブからは6名が参加し、ハーベストクラブの方達や南山幼稚園の園児ファミリーたちと一緒にさつま芋掘りを行いました。今後11月いっぱいまでいくつかの幼稚園や児童施設の沢山の子供たちが訪れるそうです。その後はピザ窯でピザやイモを焼いて美味しく頂き楽しい時を過ごしました。(渡辺真悟)



YMCA ニュース

居場所

毎月1回例会として野外活動を行っています。参加している子どもたちの中で発達障がいがある子ども、不登校だけれども毎月の野外活動は必ず参加している子どもたちがいます。学校ではコミュニケーションが上手くとれず、溶け込めずにいる子どもたちも気の合う友だちが居たり、リーダーのサポートによって楽しい居場所になっているのだと思います。

現在日本では引きこもりの人が15歳～64歳で146万人いると内閣府が発表しました。コロナで職を失ったこと、コミュニケーションが上手く取れなかったこと等が原因だったりします。引きこもりの方たちに「何かできることは？」と言えは今は残念ながら「ありません」としか言えません。でも将来の為に、今YMCAに来ている子どもたちに、コミュニケーションの大切さ、友だちの大切さ、人の気持ちに寄り添う大切さを伝えていくことはできます。そんなことが伝えられる居場所がYMCAであることを目指していきたいです。(中井信幸)